

党大野城市委員
やすゆき

かわむら康之

福祉に全力!

皆さんの笑顔が
私の喜びです。



わがまち大野城市の為に一生懸命

Komeito Challenge

公明党大野城市議団のチャレンジ

少子
高齢化

女性力を活かした
ワーク・ライフ・バランスの推進

福祉

高齢化社会に伴う
介護施設の充実

子育て
教育

保育所・待機児童のゼロ推進

地域

犯罪のない安全安心の
まちづくりと地域防災の強化

文化

豊かな人生を送る文化芸術と
スポーツ振興の環境整備

地域

地域・商店街の活性化



かわむら康之は3つの力を 引き出し大きな力にします!

1 青年力 時代を拓く可能性に満ちた「青年の熱と力」が活かされる環境を創ります。

2 女性力 「生命」を慈しむ女性の視点・発想を福祉・介護、教育、子育て支援に活かします。

3 地域力 お年寄りが心から安心できる街、子供たちがイキイキと輝く街づくりを推進します。

かわむら康之ストーリー Yasuyuki Story

1 人の痛みは自分の痛み

幼い頃から母の料理の手伝いをするのが大好きで、将来は調理師になるのが夢でした。中学ではイジメに遭(あ)い、そのツラさを体験。「人の痛み」を感じられるようになったといいます。高校では一転、元来の力強さを発揮、テニス部副キャプテンとして大阪大会に出場、後輩からも慕われる頼れる存在となりました。



2 市政をマネジメントする

自分の夢を実現し調理師として腕をふるう。その後大手飲料メーカーや学校法人事業部のエリア・マネージャーとしてマネジメント業務に携わる。そこで学んだ事は「お客様の声」を組み上げ活かしてゆくことの大切さ。このマネジメント経験を複合的な要素を持つ「市政」に反映させていきます。



3 弱者に寄りそう市政を

現在15歳になる双子の我が子は、母体が28週での超未熟児として生まれ、長男は脳性麻痺による重度の身心障がい児に。病院、学校への付き添いや送迎、在宅での看護など家族の負担が大きい中、福祉行政の地域格差を目のあたりにし、「政治が関わらなければならない多くの問題がある」と実感。社会的弱者の側に立ち、寄り添う思いで取り組んでいく決意です。

大野城市議団の推進・実施

- 1 災害時の被災者支援システムを実施
- 2 乳幼児医療費助成の拡大
- 3 犬のフン害防止対策、イエローカード作戦の実施
- 4 救急医療情報キットの導入
- 5 介護者支援マークの推進
- 6 犬・猫殺処分ゼロの推進
- 7 認知症対策の取り組みを推進



【かわむら 康之 プロフィール】

- 昭和40年3月20日生まれ
- 昭和58年3月 大阪府立農芸高等学校 食品加工科 卒業
- 昭和58年4月 日本国民食(株)入社(社員給食会社で調理業務を行う)
- 平成3年2月 アナックス株式会社 入社(パスタ店にて調理業務を行う)
- 平成4年11月 穴見観光 入社(海鮮菜館「紺屋」にて調理業務を行う)
- 平成5年6月 アクアフォーレ(株) 入社(和食料理業を行う)
- 平成6年5月 北九州キャンティーン(株) 入社
- 平成14年7月 社名変更により「西日本ビバレッジ(株)」となる(フードサービス部「エリアマネージャー」として20箇所の事業所の担当になる)
- 平成15年8月 学校法人中村学園 中村学園事業部に業務移管され入部、35箇所の事業所担当エリアマネージャーとなる。販売部門 一般給食課課長として勤務し平成27年3月退職予定。

- 家 族 妻・長男・次男
- 趣 味 DVD鑑賞・映画鑑賞

〒816-0931 大野城市筒井3-9-41
 TEL/092(574)4359
 Mail/ga78275@qf6.so-net.ne.jp